

## 『善きふるさと 所沢』を未来の子どもたちに（抜粋）

### 教育

- ・ 少子化が進む中、学校は統廃合しません。しかし、こども、高齢者などへの活用は進めます。そうやって、おらがまちの、ふるさとの学校としての役割を果たしていきます。
- ・ 学校のあり方
- ・ トイレの洋式化を2周目も進めます（小中学校は47校、東西にそれぞれ1系列ずつトイレあり、あと2年で1系列めの工事終了。1年に設計と工事に各6校くらいで、年に約6億円かけて進めています。）
- ・ 体育館のトイレの洋式化
- ・ 木のぬくもりある学校づくり（内装木質化）を進めます。今回、私もメンバーになって国を動かし、森林活性化のための予算（財源）が確保されました。それを財源にして県産材を使った木のぬくもりある学校づくりを進めていきます。

先生方が子供たちとじっくりゆったり子どもと向き合えるために

- ・ 人的支援をすすめる、一方で質の向上を
- ・ ゆとりある教育体制と学力向上、課外活動の充実のために隔週土曜日の開校を検討、
- ・ 掛け算割り算分数などの基礎事項は教員OBや市民の手を借り、多くの人々の目で教え、基礎学力の徹底をします、
- ・ 給食にもっと地元農産物を取りいれます。また、今やっている農家を支援します、
- ・ 小中高一貫の私立校を誘致
- ・ 所沢市の子どもたちをオリンピック・パラリンピック応援に招待します